

第456号 9月号 2022.9.20

岐阜県

商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107

子供たちが楽しみにしていた夏祭りを再開！ 「恵那納涼夏祭りと盆踊りの夕べ・恵那まちなか市」開催

◆主催：恵那まちなか市実行委員会

2022年8月14日（日）、恵那駅前一带で「恵那納涼夏祭りと盆踊りの夕べ・恵那まちなか市」が開催されました。約100年前から継承されてきた、屋形船を模した踊り台「恵那丸」を中心に、盆踊りを始めたたくさんのイベントが開催されました。



▲大勢の来場者で賑わう駅前通り



▲祭りの象徴「恵那丸」

「コロナが再拡大し、直前まで開催か中止かを議論しました。主催者として非常に悩みましたが、夏祭りを中止したからといって感染者が減るわけではない。安易に中止にするのではなく、感染対策をしっかりと行うことが大切なのではないかと考え、開催に踏み切りました。」と恵那まちなか市実行委員会の大塚会長は話します。

「お祭りの準備を進めている最中、子供達が“今年はお祭りできるの？”と、わくわくしながら待っていていました。自治会のお祭りなどほとんどのお祭りが中止になってしまった中、夏の思い出になるよう、何とかこの祭りは開催したい、という一心でした。」こうして開催された3年ぶりとなるお祭り会場には大勢の人達が集まり、子供達の笑い声が響く賑やかな一夜となりました。



▲子供に大人気の通りを走り抜けるリニアカー

■ 子供たちのためにも開催を

今回は新たな試みにも挑戦。「これまで屋台の

みだったのですが、今年は初めてキッチンカーにも参画いただきました。屋台よりもキッチンカーの方が買いやすいというお客様もあり、両方楽しんでいただけるようにしました。ちょうど恵那にキッチンカー専門会社が立ち上がったこともあり、来年はキッチンカー100台を呼ぼう、と意気込んでいます。どこもやったことのない企画なので、きっと盛り上がると思います。」



▲ 9 台のキッチンカーが出店

■ 「恵那丸」を故郷の象徴として継承する

祭りのシンボルである「恵那丸」は、駅前通りに新たに倉庫をつくり、保管する計画が進んで

いるとのこと。「市長にも観光名所の1つとして、恵那丸を外からも見ることのできる倉庫をつくるという計画に賛同いただきました。恵那丸は私の祖父の代から受け継がれ、地元の人達の宝です。町の中心に展示保管されることで観光客だけでなく、恵那から都会へ出た人が帰省した時に、「故郷に帰ってきたな」と感じてくれる象徴になったら嬉しいなと思います。

今後は、9月25日に開催予定の「ENAみのじのみり祭」に向けて準備を進めるとのこと。

「コロナの収束はまだ見えませんが、こうして商店街が中心となってイベントを開催し続けることで、少しでも皆さんが外出していただけるきっかけをつくりたいと思っています。」



▲恵那まちなか市実行委員会 大塚会長

待ちに待った夏祭りが3年ぶりに開催！ 「水都まつり」

◆主催：水都まつり実行委員会

2022年8月6日(土)～7日(日)、大垣駅通り一帯で「水都まつり」が開催されました。

コロナウイルスの再拡大が懸念される中、十分な対策を取った上で開催された当日は、大勢の方が訪れ大盛況となりました。連合会からは、「駅前商店街」「郭町商店街」「本町一番街商店街」の3商店街が協力し、祭りを盛り上げました。

■ 駅前商店街(松本副理事長)

「コロナ再拡大の中、対策を講じて開催をしま



▲歩行者天国にたくさんの人が集う

したが、これだけの方にご来場いただき驚いています。今回も青年部のメンバーと、岐阜協立大学の学生さんが手伝ってくれました。ここ2年、夏祭りが中止となって、商店街と学生さんとの連携が弱くなってしまうことを心配していましたが、何とか今年は開催できて、再び皆さんが協力してくれたことに感謝しています。」



▲地域を一緒に盛り上げる大学生メンバー



▲駅前商店街 松本副理事長

■ 郭町商店街(北野理事長 / 吉位実行委員長)

「台風やコロナで直前まで不安でしたが、お天気にも恵まれ、これだけの人に来てくれて本当に良かったです。久しぶりに皆さんと盆踊りを楽しむことができ、祭りの醍醐味を感じることができました。」(北野理事長)

「72回続いてきた盆踊りを継承していかねばという思いで開催しました。市民の皆さんも期待をしてくれていたのので、無事に開催できて良かったです。お祭りをきっかけに、商店街のお店を思い出してもらえると嬉しいなと思います。」(吉位実行委員長)



▲盆踊りはたくさんの観客が参加



▲郭町商店街 北野理事長
夏祭り実行委員長 吉位実行委員長

■ 本町一番街商店街(杉江理事長)

「今年はお子さんに喜んでもらえる企画をしようと、木製遊具と着ぐるみを企画しました。想像以上の集客ができてとても嬉しいです。家族連れの方にとって専門店が多い商店街は、足を運びづらいのではないかと思います。お祭りのようなイベントを通してお店を知り、立ち寄ってくれるきっかけづくりになればと期待してい



▲木製遊具で遊ぶ親子



▲本町一番街商店街 杉江理事長と息子さん

ます。本町一番街商店街は小規模なので、派手なことはできませんが、やる気のあるメンバーと一緒にあって、まずはこういったイベントを軌道に乗せ、定着させることが目標です。そういう姿を子供達が見て、自分たちも協力したいと言ってくれたら嬉しいなと思います。」

商店街からハンドメイド文化を発信 老舗手芸専門店「江戸ッ子」が柳ヶ瀬に復活 (柳ヶ瀬通2丁目商店街振興組合)

2022年7月17日、創業107年目を迎える服地・手芸専門店「江戸ッ子」が創業の地である柳ヶ瀬に店舗を復活させました。

庭科室」を併設するというアイディアの提案を受けました。



▲柳ヶ瀬商店街内の店舗

■ 再出店のきっかけは若者のアイディア

元々同じ場所で店舗を運営していましたが、2007年に柳ヶ瀬の店舗は閉店。しかし今回、羽島店のテナント契約終了に伴い、移転先として再び柳ヶ瀬での出店を決定しました。

柳ヶ瀬での出店を後押ししたのは、岐阜市主催の「リノベーションスクール@岐阜」。

遊休化している不動産や、周辺に存在する資源の価値を上げるビジネスプランをチームで考える当スクールの受講生から、店舗に「まちの家



▲まちの家庭科室「HUKIN」

「まちの家庭科室」は、貸しミシンや作業台、閲覧自由の型紙ライブラリーなどを設け、スタッフのアドバイスを受けながら気軽に立ち寄って手芸を楽しめるというもので、従来から鞆や服などの作り方アドバイスをサービスとして行っていた、当店の方針と一致するとのことで採用に至りました。

運営は、岐阜市にオーダーメイド洋服店を構えるオーナーが担当。こうしてハンドメイド体験スペースHUKINを併設した、新しい「江戸ッ子岐阜店」が誕生しました。



▲道具レンタルや技術講座などもある

■ 相乗効果でハンドメイド文化を継承する

「オープンは、柳ヶ瀬の定期市『サンデービルディングマーケット』に合わせて行いました。たくさんの方やお子様連れの方にお越しいただき、とても盛況な開店となりました。開店から1ヶ月ほど経ちますが、HUKINをご利用いただく方も増えてきています。お子様連れでワークショップに参加いただく方もいっしょり、お子さんが楽しそうに創作している様子が微笑ましいですね。」

「創業以来、当社は“手”の文化を大切にしたい、と伝え続けています。時代は変わり、ご家庭で裁縫をする機会も少なくなっています。一方で、サンデービルディングマーケットなどでは、若い人達がつくるハンドメイド作品に人気が集まっているのを目にします。こうしたハンドメイドに興味のある方の中には、自分でも作ってみたいという方もいらっしゃると思います。“ハンドメイドをやってみたいけどどうしたらいいのかわからない”という人には、ぜひHUKINをご利用いただきたいですね。体験いただくことで、ハンドメイドを好きになって、やがて当店のお客様になっていただく。そのような相乗効果が生まれればと期待しています。」



▲店長の栗田さん

住所：岐阜市柳ヶ瀬通2-17

TEL：058-213-0820

営業時間：10:00～17:00

定休日：年末年始(HUKINは水曜定休)

【取材・記事 中小企業診断士 二宮佳代】

◆ 岐阜県商店街DX事業費補助金

岐阜県では、商店街のデジタル化に伴う人や現金への接触機会の削減による新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図ることにより、商店街の「安全・安心」を確保するとともに、商店街のPR、環境整備を実施し、若者やインバウンドの誘客促進、消費拡大による商店街活性化のため、「岐阜県商店街DX事業費補助金」を設けています。

【対象となる方】

商店街振興組合及び商店街振興組合連合会、その他商店街団体、商工会議所、商工会、実行委員会等

【支援の内容】

1. 商店街オンライン事業

商店街におけるオンライン事業（オンラインま

ちゼミ、オンライン商店街等オンラインを活用して実施する事業)

補助率：3分の2以内、上限額：1,000千円
円 下限額：100千円

2. 商店街キャッシュレス・Wi-Fi環境整備事業

商店街におけるキャッシュレス決済の導入及びWi-Fi環境の整備を行う事業

補助率：3分の2以内 上限額：1,000千円
円 下限額：100千円

3. 専門家派遣事業

商店街においてDX(デジタルトランスフォーメーション)に関する勉強会や研修会を実施する事業

補助率：3分の2以内 上限額：1,000千円

円 下限額：100千円

【募集期間】

令和4年度 追加募集しております。
予算額に達し次第募集終了します。

【ご利用の方法】

市町村商工担当課を通じて、県商業・金融課に補助事業計画書等を提出してください。商業・金融課での評価を経て、事業を選定します。
なお、事業開始は交付決定後になりますので、ご注意ください。

【お問い合わせ】

岐阜県 商工労働部 商業・金融課 商業振興係

TEL: 058-272-8374

◆ 原油価格・物価高騰等対策資金

【対象要件】

原油価格・物価高騰等の影響を受け、市町村長からセーフティネット保証5号の認定を受けた方

【融資条件】

- 融資限度額：運転資金 4,000万円
設備資金 2億円
- 償還期間：運転資金 7年以内(据置期間1年以内)
設備資金 15年以内(据置期間2年以内)
- 融資利率：年1.2%(固定)
- 保証人：原則、法人代表者以外は不要
- 信用保証料：なし ※予算の範囲内で県が全額を負担

【融資実行期限】

令和5年3月31日(金)まで

(イ) セーフティネット保証5号(売上高等の減少)の要件

指定業種に属する事業を行う中小企業者であって、最近3か月間の売上高等が前年同期の売上高等に比して5%以上減少していること。

(ロ) セーフティネット保証5号(原油等の価格上昇)の要件

指定業種に属する事業を行う中小企業者であって、以下の要件のいずれも満たすこと。

- ①原油等の最近1か月の平均仕入単価が前年同月比で20%以上上昇(原油等の仕入単価の上昇率)
- ②売上原価に対する原油等の仕入価格の割合が20%以上(原油等への依存率)
- ③最近3か月の売上高に占める原油等の仕入価格の割合が、前年同期の売上高に占める原油等の仕入価格の割合を上回っていること(価格転嫁の状況)

制度についてのお問い合わせは、岐阜県 商工労働部 商業・金融課 資金融資係

TEL: 058-272-8389

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。